

中国、雑品、ハーネス完全輸入ストップ !!  
**廃車ガラ・プレス等の引取制限・買取価格引き下げ状況等 緊急アンケート調査**

1. 調査内容

4月19日に中国政府より発表された雑品、モーター類、被覆銅線、ハーネス（アルミ・銅）など廃棄物関連16品目の輸入禁止（2018年12月31日以降）を受けて、解体事業者における雑品、モーター類、被覆銅線、ハーネス等の出荷状況の現状把握と併せて、破砕業者等による廃車ガラ・プレス等の引取制限や買取価格引き下げ等について調査を実施。

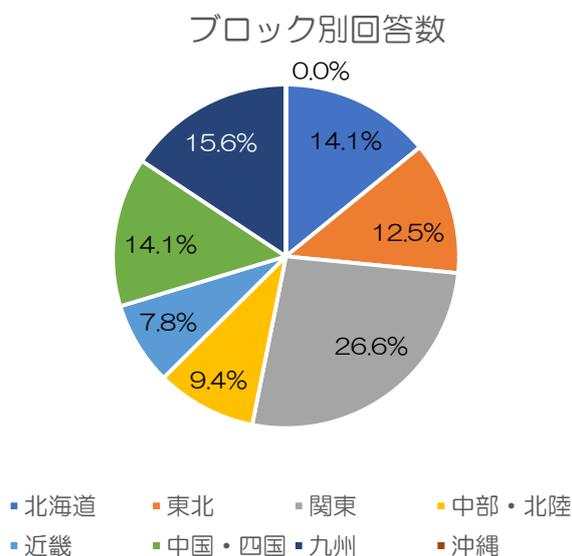
2. 調査対象

日本ELVリサイクル機構会員496社を対象とし、64事業所より回答を得た。（回答率：12.9%）

(1) 回答数及び回答率

回答数	回答率
64/496	12.9%

(2) ブロック別回答数



ブロック	回答数	割合
北海道	9	14.1%
東北	8	12.5%
関東	17	26.6%
中部・北陸	6	9.4%
近畿	5	7.8%
中国・四国	9	14.1%
九州	10	15.6%
沖縄	0	0.0%
合計	64	100.0%

### 3. 調査結果

#### 3-1 中国向け雑品類等の輸出量及び輸出量分布

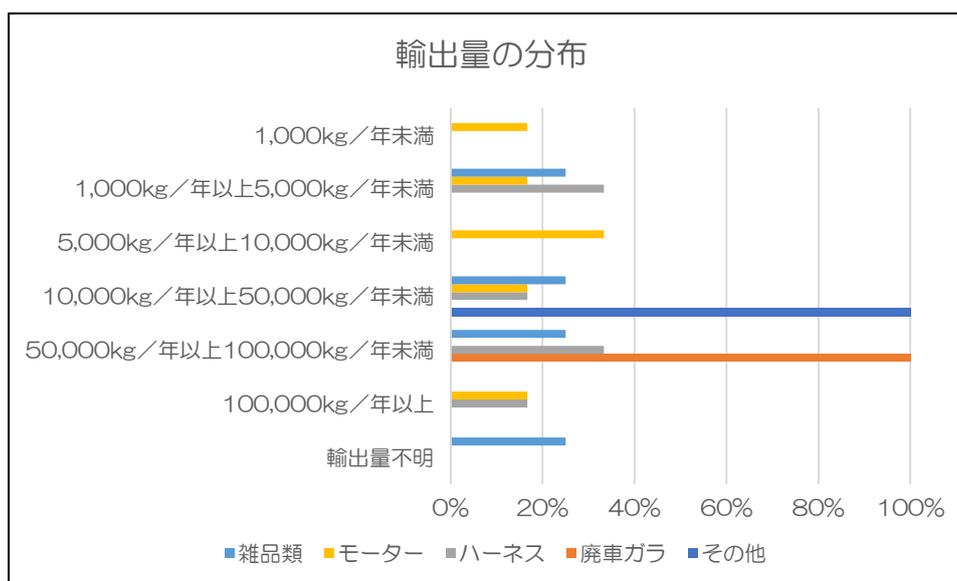
##### (1) 輸出量

輸出品目	事業所数	輸出量 (kg/年)
①雑品類 (カーステレオ等の電子機器類)	4	116,200
②モーター類	6	168,050
③ハーネスなど被覆電線類	6	342,240
④廃車ガラ・プレス	1	58,000
⑤その他	2	37,000
<b>輸出総量</b>		<b>721,490</b>

事業所数：本アンケートの回答で「中国へ輸出している」と答えた事業所数

輸 出 量：本アンケートの回答で「中国へ輸出している」と答えた事業所の輸出量合計

##### (2) 輸出量分布 (「中国へ輸出している」と答えた事業所の輸出量分布)



輸出量	①雑品類	②モーター	③ハーネス	④廃車ガラ	⑤その他
1,000kg/年未満	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
1,000~5,000kg/年未満	25.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
5,000~10,000kg/年未満	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
10,000~50,000kg/年未満	25.0%	16.7%	16.7%	0.0%	※1 100.0%
50,000~100,000kg/年未満	25.0%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%
100,000kg/年以上	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
輸出量不明	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※1：ABS アクチュエーター

### 3-2 商社・中間業者等向け雑品類等の出荷量、出荷量分布及び出荷先

雑品類等の出荷先は、一般的に商社や中間業者等であるため、輸出仕向け先が不明の場合が多く、輸出されることなく国内で処理されていることも想定される。このため、出荷量に加え、主な出荷先情報も収集し、輸出業者及び輸出をしている金属リサイクル業者への出荷状況を把握した。

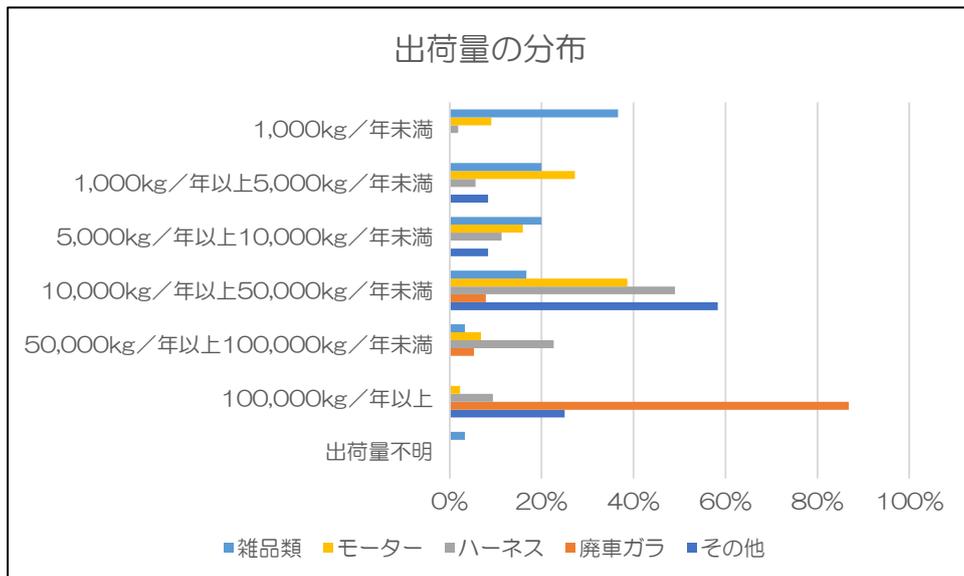
#### (1) 出荷量

出荷品目	事業所数	出荷量 (kg/年)
①雑品類 (カーステレオ等の電子機器類)	30	211,852
②モーター類	44	747,960
③ハーネスなど被覆電線類	53	2,138,663
④廃車ガラ・プレス	38	83,278,253
⑤その他	12	2,002,189
<b>出荷総量</b>		<b>88,378,917</b>

事業所数：本アンケートの回答で「仕向け先不明」と答えた事業所数

出荷量：本アンケートの回答で「仕向け先不明」と答えた事業所の出荷量合計

#### (2) 出荷量分布 (「仕向け先不明」と答えた事業所の出荷量分布)



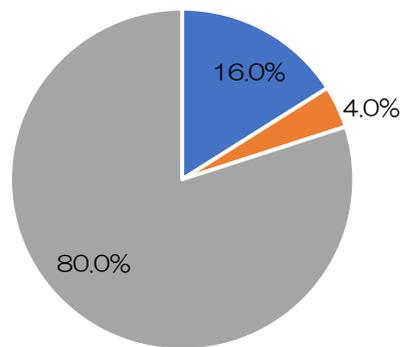
出荷量	①雑品類	②モーター	③ハーネス	④廃車ガラ	⑤その他
1,000kg/年未満	36.7%	9.1%	1.9%	0.0%	0.0%
1,000～5,000kg/年未満	20.0%	27.3%	5.7%	0.0%	※28.3%
5,000～10,000kg/年未満	20.0%	15.9%	11.3%	0.0%	※38.3%
10,000～50,000kg/年未満	16.7%	38.6%	49.1%	7.9%	※45.3%
50,000～100,000kg/年未満	3.3%	6.8%	22.6%	5.3%	0.0%
100,000kg/年以上	0.0%	2.3%	9.4%	86.8%	※525.0%
出荷量不明	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※2：ヒューズBOX ※3：アルミ等 ※4：ラジエータ、エバポレータ等のアルミ類、鉛バッテリー、各種金属雑品、ニューム類、アルミホイール、ABS アクチュエーター、樹脂タンク、PC（ポリカーボネート）やPMMA（アクリル樹脂）のライト、テール、バイザーなど ※5：エンジン、足廻り、触媒、ラジエータ類など

### (3) 雑品類の主な出荷先

	回答数
出荷先を回答した事業所数 ※64 事業所中	35
出荷先の業者数 ※複数回答あり	75

雑品類の主な出荷先



■ 輸出業者 ■ 輸出をしている金属リサイクル業者 ■ 国内金属リサイクル業者

出荷先	回答数	割合
輸出業者（貿易商社）	12	16.0%
輸出をしている金属リサイクル業者等	3	4.0%
国内金属リサイクル業者	60	80.0%
合計	75	100.0%

### 3-3 解体業者全体での雑品類等の出荷量推計

#### (1) 事業規模の分類

- ① JARC データブック (P29) 「事業所規模による引取件数」の報告件数別の分類により事業規模を分類するための年間移動報告件数 (年間処理台数) を設定

JARC データブックでの引取件数別事業所数		事業規模の分類
1 ~ 1,000 件	3,046 事業所	小規模事業所
1,001 ~ 10,000 件	550 事業所	中規模事業所
10,001 件以上	54 事業所	大規模事業所

- ② ヒアリング等により、本アンケートへ回答した事業所の事業規模について、年間処理台数を基準に分類

事業規模の分類	年間処理台数	回答者の事業規模	割合
小規模事業所	1 ~ 1,000 台	10	15.6%
中規模事業所	1,001 ~ 10,000 台	44	68.8%
大規模事業所	10,001 台以上	10	15.6%

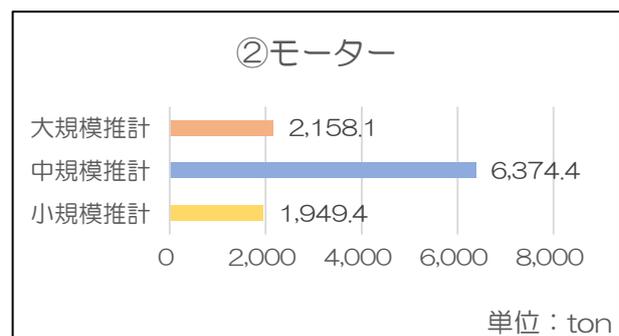
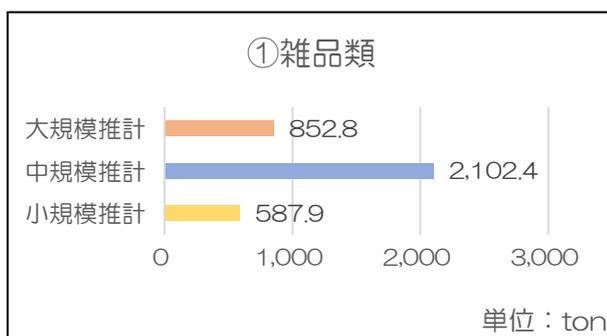
#### (2) 出荷量推計

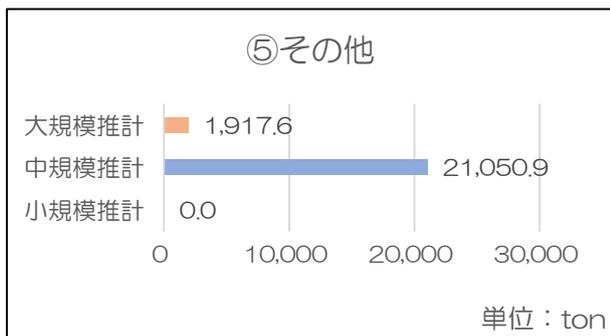
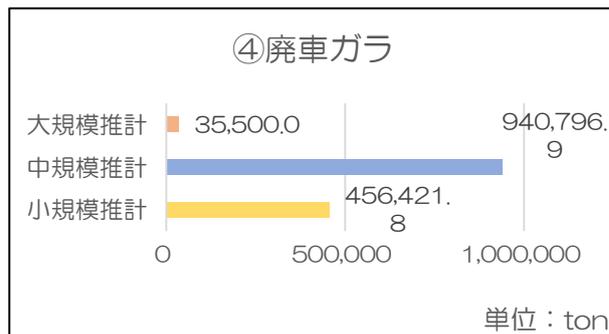
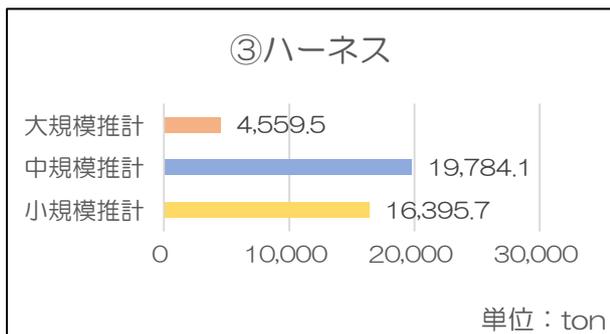
3-1 中国向け雑品類等の輸出量 及び 3-2 商社・中間業者等向け雑品類等の出荷量から事業規模ごとの 1 事業所あたりの雑品類等の平均出荷量を算出し、(1) - ①で設定した「事業規模の分類」ごとの事業所数により、解体業者全体での雑品類等の出荷量を推計した。

#### 解体業界全体での総出荷量推計

(単位: トン/年)

事業規模の分類	①雑品類	②モーター	③ハーネス	④廃車ガワ	⑤その他
小規模事業者	587.9	1,949.4	16,395.7	456,421.8	0.0
中規模事業者	2,102.4	6,374.4	19,784.1	940,796.9	21,050.9
大規模事業者	852.8	2,158.1	4,559.5	35,500.0	1,917.6
合計	3,543.1	10,481.9	40,739.3	1,432,718.7	22,968.5





### 3-4 解体業者全体での雑品類等の輸出量推計

3-2 (3) 雑品類の主な出荷先の結果よりおよそ20%の雑品類が「輸出業者（貿易商社）」もしくは、「輸出をしている金属リサイクル業者等」へ引き渡されている可能性がある。それら業者へ引き渡した雑品類全てが国外へ輸出されていると仮定して、3-3 (2) 出荷量推計で推計した解体業界全体での総出荷量より雑品類等の輸出量を推計した。

解体業界全体での輸出量推計

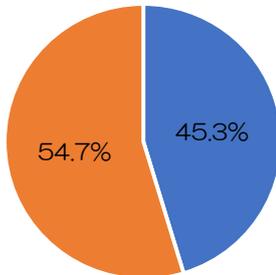
(単位：トン／年)

出荷品目	出荷量推計	輸出量推計
①雑品類（カーステレオ等の電子機器類）	3,543.1	708.6
②モーター類	10,481.9	2,096.4
③ハーネスなど被覆電線類	40,739.3	8,147.9
④廃車ガラ・プレス	1,432,718.7	286,543.7
⑤その他	22,968.5	4,593.7
合計	1,510,451.5	302,090.3

3-5 廃車ガラ・プレス等の引取制限や買取価格引き下げ等に関する破砕業者からの通知／通告

(1) 通知／通告の有無

通知／通告の有無



■あり ■なし

引取制限／ 買取価格引き下げ	事業者数	割合
通知／通告あり	29	45.3%
通知／通告なし	35	54.7%

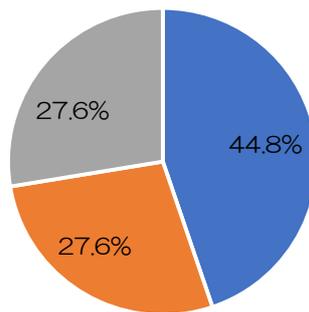
(2) 通知／通告の状況（地域・ブロック別）

ブロック	都道府県	通知／通告数	回答数	ブロック内 通知／通告割合
北海道	北海道	1	9	11.1%
東北	青森県	0	8	25.0%
	岩手県	0		
	秋田県	0		
	山形県	0		
	福島県	1		
	宮城県	1		
関東	茨城県	2	17	64.7%
	栃木県	0		
	群馬県	1		
	埼玉県	3		
	千葉県	3		
	東京都	回答なし		
	神奈川県	回答なし		
	新潟県	0		
	山梨県	2		
	静岡県	0		
中部・北陸	富山県	1	6	100.0%
	石川県	1		
	長野県	回答なし		
	福井県	回答なし		
	岐阜県	1		
	愛知県	1		
	三重県	2		

近畿	滋賀県	回答なし	5	60.0%
	京都府	回答なし		
	大阪府	0		
	兵庫県	2		
	奈良県	回答なし		
	和歌山県	1		
中国・四国	鳥取県	1	9	66.7%
	島根県	1		
	岡山県	1		
	広島県	回答なし		
	山口県	回答なし		
	徳島県	回答なし		
	香川県	2		
	愛媛県	回答なし		
	高知県	1		
九州	福岡県	0	10	0.0%
	佐賀県	回答なし		
	長崎県	0		
	熊本県	0		
	大分県	0		
	宮崎県	0		
	鹿児島県	0		
沖縄	沖縄県	回答なし	0	—

(3) 通知／通告の内容

通知／通告の内容



- 「価格」に関する通知
- 「引取量」に関する通知
- 「価格」「引取量」両方の通知

通知／通告内容	回答数	割合
「価格」に関する通知 (ガラ単価引き下げ、ダスト引き率UP など)	13	44.8%
「引取量」に関する通知 (引取拒否もしくは引取制限など)	8	27.6%
「価格」「引取量」両方の通知	8	27.6%
合 計	29	100.0%

### 3-6 まとめ

- 本アンケートの集計結果より、多くの解体業者が雑品類を出荷し、そのうちおよそ 20%が国外へ輸出されている可能性があることは分かったが、中国への雑品類の輸出量を推計するまでには至らなかった。
- 3-5 廃車ガラ・プレス等の引取制限や買取価格引き下げ等に関する破砕業者からの通知／通告で整理した通り、地域によるばらつきはあるものの、中国への輸出が完全にストップしていない現状でも破砕業者での自動車由来でない雑品類等の処理量増加により、廃車ガラへ単価引き下げや引取制限という形で影響が出ている。
- 中国への輸出（雑品、モーター類、被覆銅線、ハーネス（アルミ・銅）など廃棄物関連16品目）が、2018年12月31日をもって完全にストップすることになれば、自動車由来にかかわらず、多くの雑品類が国内処理となることが予想され、破砕業者等からの単価引き下げや、引取制限などの状況が全国へ波及するなど、更なる影響が予想される。

以上